



公立大学法人富山県立大学
News Release

地域協働支援室

担当：神村（地域協働コーディネーター）
電話：0766-56-7500（内線 1632）
kyodo@pu-toyama.ac.jp

令和 6 年 6 月 5 日

**庄川河川敷における特定外来生物オオキンケイギク除去作業
（地域協働授業）**

本学では、学生の社会参画力や課題解決力の育成を図るため、地域の人々との交流・対話・協働などにより地域の課題解決を目指す講義や演習を取り入れた「地域協働授業（※）」を実施しています。

このたび、その一環として、少人数教育のゼミ形式で外来種問題をテーマにした地域協働授業を実施します。

1 概 要

オオキンケイギクは北アメリカ原産のキク科の多年生草本で、成長すると草丈 70cm 程度になり、観賞用・緑化用に国内に持ち込まれ、全国で野生化しています。また、その強靱な性質から、特に河川敷や道路脇や法面、線路沿いにしばしば大群落をつくっており、在来の生態系への悪影響（特に河川敷に見られる在来種の生育環境を奪うなど）が懸念されています。そのため、外来生物法により特定外来生物に指定され、その栽培、保管、運搬が原則禁止されています。

そこで、鈴木浩司准教授の担当する教養ゼミにおいて、外来生物の問題をより身近な社会的課題として理解するために、庄川河川敷に繁茂するオオキンケイギクの除去作業を実施することとしました。

2 日 時 令和 6 年 6 月 8 日（土）9 時 30 分～11 時 00 分（予定）

3 場 所 大島北野河川公園（射水市大島北野）

4 参加者 本学 工学部・情報工学部 1 年生 14 名
教養ゼミ I（担当 教養教育センター 鈴木浩司准教授）受講生

5 その他

河川を管理する富山河川国道事務所と連絡を取り合いながら実施します。また、外来生物法による「植物に関する小規模防除の特例について」に従い、除去した株はゴミ袋に密閉し、燃えるゴミとして処分します。

・ 作業内容等に関する問い合わせ：

教養教育センター 鈴木浩司 准教授
suzuki-azuma@pu-toyama.ac.jp（内線 1940）

※本学の「地域協働授業」の概要やこれまでの実績等については、
地域協働支援室の HP をご覧ください。 <https://tpu-cbl.net>

